



2021年5月12日

各 位

会社名 株式会社ハークスレイ  
 代表者名 代表取締役会長 青木 達也  
 (コード番号: 7561 東証一部)  
 問合せ先 執行役員管理本部長 菊川 創  
 T E L 0 6 ( 6 3 7 6 ) 8 0 8 8

## 業績予想と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

2020年6月2日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績値の差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、通期個別業績の予想値については公表しておりませんでした。前期実績値との対比において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は本日開催の取締役会において、2021年3月31日を基準日とする剰余金の配当を無配とすることを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異

##### (1) 連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	41,000	730	1,230	740	78円70銭
実 績 (B)	35,126	400	912	70	7円66銭
増 減 額 (B-A)	△5,874	△330	△318	△670	—
増 減 率 (%)	△14.3	△45.2	△25.9	△90.5	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	47,382	944	1,244	1,276	135円72銭

##### (2) 個別業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 期 実 績 (A)	17,534	131	636	206	21円95銭
実 績 (B)	16,331	363	977	851	92円03銭
増 減 額 (B-A)	△1,203	232	341	645	—
増 減 率 (%)	△6.9	177.1	53.6	313.1	—

## 2. 差異が生じた理由及び今後の対応

売上高に関しては持ち帰り弁当事業の既存店売上は前年同程度を維持したものの、新型コロナウイルス拡大の影響は甚大で、持ち帰り弁当事業のイベント外販、店舗委託事業、店舗管理事業、仕出料理事業及びフレッシュベーカーリー関連事業の売上減少は避けることができず、前年実績を下回ることとなりました。その一方、各事業会社の適切かつ迅速なコスト削減への取組みによって、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた仕出料理事業やフレッシュベーカーリー関連事業の損失を補填したうえで営業利益及び経常利益を確保しております。また親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、フレッシュベーカーリー関連事業の売却損、新型コロナウイルスの影響による収益低下で繰延税金資産の取崩しを行ったこと及び一部固定資産の減損を行ったことにより前年実績を下回ることとなりました。

個別業績におきましては、積極的な商品開発とデジタルプラットフォームを利用した販売促進施策の効果もあり、店舗売上は前年同程度を維持いたしましたが、新型コロナウイルスによる影響の大きなイベント外販受注が大きく低迷いたしました。また不採算店舗の閉鎖による店舗数の減少の影響もあり、全体の売上高はやや減少しております。一方で不採算店の閉鎖や販管費の見直しを強力に推し進めた結果、営業利益は大きく改善いたしました。

今後の対応といたしましては、新型コロナウイルスによる影響につきましては未だ予断を許さない状況であります。グループ各社の協力のもと運営体制の効率化及び安定化施策を実施し、また2020年12月に竣工・稼働開始いたしました株式会社アサヒL&Cの第2工場による外販事業の拡大も見込まれ、着実に事業が推移するものと判断しております。

## 3. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2021年2月15日公表)	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2021年3月31日	2021年3月31日	2020年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	0円00銭	38円00銭 (内 記念配当20円)
配当金総額	-円	-円	357,864千円
効力発生日	-	-	2020年6月24日
配当原資	-	-	利益剰余金

## 4. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識し、経済情勢や業績の変動が生じても安定的な配当を行うことが株主の皆様の利益に合致すると考えております。また、財務体質強化のための内部留保金の確保並びに将来の事業拡大のための資金を総合的に勘案のうえ、利益配分を行うことを基本方針としております。

一方で現在においては、新型コロナウイルス収束の兆しが見えず、ワクチン等の接種効果の発現もはっきりと見通せない状況です。延期されたオリンピックの開催縮小や会合等の自粛により、仕出料理事業の回復時期が見通せない点を鑑み、不透明な環境下において、弊社は従前の基本的な考え方を継続しつつも、今は財務体質の強化など経営の安定化を最優先に図ることこそ、株主の皆様にとっての中長期的な利益となると判断し、誠に遺憾ではございますが、期末配当を無配とすることを、本日開催の取締役会で決議したものであります。

今後は新型コロナウイルスの収束を見据え、株式会社アサヒL&Cにおいて2020年12月に竣工いたしました第2工場の稼働をはじめ、店舗流通ネット株式会社における自社保有商業ビルの運営や、ほっかほっか亭とのコラボ出店を軸にしたコインランドリー事業等の新規事業の発展と、仕出料理事業の回復に注力してまいります。近い将来新型コロナウイルスの影響が軽微かつその収束を予見できると判断した暁には、利益配分の基本方針に則り、各種経営指標を勘案の上、連結配当性向として20%を基本とした利益還元を行う所存でございます。なお、株主優待制度につきましては、従来通り継続してまいります。

以上、株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以 上